

## 令和6年度 第2回医療介護連携推進委員会 会議録

### 1 日時

令和7年3月4日（火）13時30分から14時10分

### 2 場所

碧南市役所2階 談話室2

### 3 出席者及び欠席者

#### (1) 出席者（14名）

長田和久、小林正人、池田史明、小田高司、中井敏子、金澤英俊、近藤真弓、中西知加子、加藤美紀、石川智宏、本多輝行、杉浦敬子、縣恵美、中根千勢子

#### (2) 欠席者

二宮伸建

#### (3) 事務局

高齢介護課長 小林圭介、高齢介護課課長補佐 杉浦洋子、地域支援係担当係長 羽佐田美和子、地域支援係社会福祉士 齊木鉄馬

### 4 傍聴者

0人

### 5 議題

(1) 令和6年度在宅医療・介護市民講座について〔資料1〕

(2) 在宅医療・救急医療との連携チーム会議について〔資料2〕

(3) 在宅医療・介護連携推進事業 令和7年度事業計画について〔資料3・別紙〕

(4) はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）の利用登録状況について〔資料4〕

(5) 地域包括ケアシステムのための在宅医療介護連携の手引きの修正について〔資料5〕

### 6 議事の要旨

#### (1) 会長あいさつ

この委員会においては、医療、介護の両方が必要な方々が住み慣れた地域でできる限り在宅療養を続けられるよう、保健、医療、介護、および福祉の連携、必要な事業を推進できるよう協議をお願いしております。今年度2回目の委員会となります。

本日も、皆様の活発なご意見を頂きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

#### (2) 議題

ア 令和6年度在宅医療・介護市民講座について

事務局) 資料1にて報告

A委員) 寸劇について、3～4回集まって練習を行った。

イ 在宅医療・救急医療との連携チーム会議について

事務局) 資料2にて説明

B委員) 小林記念病院の鈴木先生からも、そのような方向性でいいのではないかとの意見が出ていた。

C委員) 次年度の医療介護連携推進委員会は3回で、2回目の議題を在宅医療・救急

医療連携とすることで、よろしく申し上げます。

メンバーについては、どのようになるのか？

事務局) 令和7年度は、委員の改選となる。医療介護連携推進委員会の委員と、在宅医療・救急医療との連携チーム会議のメンバーで、再度メンバーについて考えていきたい。このメンバーに衣浦東部広域連合碧南消防署の方が入る方向で考えている。

ウ 在宅医療・介護連携推進事業 令和7年度事業計画について

事務局) 資料3にて説明

D委員) 別紙にて説明

(質疑なし)

エ はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）の利用登録状況について

事務局) 資料4にて説明

C委員) 碧南市医師会で登録医療機関が15機関。在宅医療を行っている医師が17名。在宅医療を行っているのに、はなしょうぶネットワークを利用していない医療機関について確認してほしい。登録していない理由を確認してほしい。新規の先生で知らないでは、問題がおきる。以前から、15件の登録だったか。

事務局) 先回のこの委員会でも15件、昨年度のこの時期の委員会でも15件で報告している。

C委員) 登録していない医療機関への説明はどこがするのか。

事務局) 電子@連絡帳の使用の契約は、高齢介護課が行っている。医師会と相談の上、高齢介護課で説明を行っていききたい。

オ 地域包括ケアシステムのための在宅医療介護連携の手引きの修正について

事務局) 資料5にて説明

C委員) 小澤医院について、届出がなされていないため、実態が不明。

事務局) 直ぐには回答はできない。届出については、把握できていない。

E委員) 半年前に、本人と話をすることができたが、届出については不明。

事務局) 今後、案を消したものを送付予定であるため、修正点あれば教えてほしい。

(3) その他連絡事項

事務局) 次回は令和7年6月を予定しています。